

人権同和教育研修会

スマホ世代の子どもと

どう向き合おうか

10月27日(水)、西ノ島町立中央公民館で、関係者からの関心が高かった「インターネットによる人権侵害」をテーマに人権同和教育推進協議会研修会を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、講師は来町せず、講演の映像を視聴する形での研修会でした。青少年のインターネット利用や児童虐待などをテーマに取材を行っている、「スマホ廃人」を執筆された作家でジャーナリストの石川結貴さんが講演を行いました。

スマートフォンへの依存のメカニズムやインターネットを通じたいじめの実態など、実際の取材から得た、青少年の声を基にした内容でした。

研修会に参加した小中学校保護者からは、「スマホでは出来ないこと、人生の体験を沢山して欲しいというフレーズが心に残った。帰って、早速子どもに伝えたい。」「親として、子どもを取り巻く状況など学ぶ機会があまりないので、良い機会だった。育児情



▲会場は密を避けるために広いノアホールで

報などはネットに頼ることが多いので、もっとこのような機会があったらよいと思う。」などの感想が聞かれ、意義ある研修会になりました。今後も人権教育・家庭教育について、研修する場を作っていきたいと思えます。



公民館活動

しまっこ広場

スポーツをしよう

10月9日(土)、町民体育館で、スポーツ推進委員の指導による、しまっこ広場を開催しました。

4名のスポーツ推進委員と5名のしまっこ広場のボランティアが、小学校1〜5年生21名の子どもたちにキンスポールの指導を行いました。



▲ウォーミングアップはラジオ体操

ウォーミングアップのラジオ体操、おにごっこは大人も子どもも一緒に盛り上がりました。その後、スポーツ推進員よりキンスポールの説明があり、ゲーム開始。会場はにぎやかな笑い声に包まれながらも、子どもたちは、勝ちたい一心で表情は真剣そのものでした。小学校の子どもたちが地域の大人と関わりながら、楽しく体を動かす良い活動となりました。



▲大きなボールを落とさないように

しまっこ広場 ×

隠岐島前高校2年生夢探求

「わあ、すごいー！発見しまの宝」

10月16日(土)のしまっこ広場は『さあ、いこう！発見しまの宝』を開催しました。隠岐島前高生の目下ところさん、錦織大護さん、山本志保さん、三角菜々美さんの4人が企画を考え、ガイドの口村光房さんと子どもたちが一緒に浦郷を巡りました。



▲いかあ屋にて浦ノ谷の話をお聞かせ

当日のコースは中央公民館をスタートし、若者宿から専念寺に登り、常福寺でレクリエーション休憩をしてから浦ノ谷に降りていかあ屋を訪れ、中央公民館に戻りました。

口村さんが、本郷小規模多機能型居宅介護事業所は、以前学校だったことや浦ノ谷の大部分は海だったこと等を紹介すると、子どもたちは目を丸くしてうんうんと頷いたり、気になってさらに質問したりしました。初めて聞く昔の浦郷の様子に、興味津々でした。普段関わることのない高校生と普段歩くことのないコースを一緒に散歩し、子どもたちは大喜びでした。

常福寺では隠岐島前高生が考えたクイズ大会や僧侶の柴田照輝さんへのインタビュー等、休憩時間にも子どもたちを飽きさせない工夫が見られました。「質問したい」「答えたい」と、どんどん手を挙げる子どもたちに、企画した高校生も満足している様子でした。



▲常福寺では、クイズや質問タイム

子どもたちからは「色々などころに行けて楽しかった」「常福寺で柴田さんに質問したことが心に残った」等の感想が聞かれました。

企画した高校生からも「小学生が楽しかったことを話してくれて嬉しかった。」「浦郷の人たちと関わることで嬉しかった」などの感想が聞かれ、地域・小学生・高校生皆にとって良い活動になりました。



▲子ども、高校生、大人で記念撮影

この活動は、探検する地区を変えて第2回、第3回と続けて実施する予定です。自分の地区でも探検をしてほしい、子どもの声が聞きたいという方がおられましたら、中央公民館(6-0033)までお問い合わせください。

土曜よろず朝市

10月9日(土)、23日(土)、観光交流センター1階で「土曜よろず朝市」を行いました。「地域住民の交流の場づくり」を目指して8店舗が参加し、隠岐島前高校生つなぎ部5名もサポート役として加わり、季節の野菜、餅、手作りの布小物等を販売しました。

来場者からは、「にぎやかで楽しい」「生産者と話しながら面白い物が出来て嬉しかった」との感想がありました。今後も、年齢や職業を越え、色々な方が集い交流できるような朝市を開催していきたいと思えます。



▲にぎわう朝市